

平成 29 年度
教科に関する科目
音 楽

注意事項

- 1.試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2.問題は2問とも解答してください。
- 3.解答用紙は、1問につき1枚（表のみ）使用してください。
- 4.受験番号、氏名を解答用紙の指定された欄に2枚とも必ず記入してください。
- 5.この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 60分です。
- 6.試験が終わるまで退室できません。
- 7.試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
- 8.下書きには問題冊子の余白を使用してください。
- 9.試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

問1 次の(1)～(5)の中から2曲選んで、作曲家、時代、地域、作品の特徴や様式、演奏の形態について、それぞれ100～140字で記述しなさい。記号や数字も1文字を1マスとします。

- (1) 《ノヴェンバー・ステップス》
- (2) 《小フーガ ト短調》 BWV578
- (3) 《わが祖国》より 〈ブルタバ (モルダウ)〉
- (4) 《フィガロの結婚》 K.492
- (5) 《ラプソディ・イン・ブルー》

問2 「『小学校学習指導要領』（平成20年文部科学省告示第27号）第2章 第6節 音楽」の「第2 各学年の目標及び内容」〔第3学年及び第4学年〕「2 内容」「A 表現」（3）のイに、音楽づくりに関して次のような記述がある。

「音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。」

この記述について、次の（1）及び（2）の質問に答えなさい。

- （1） この記述に即して、音楽づくりの指導をする際に留意すべき点について、160～200字で考えを述べなさい。記号や数字も1文字を1マスとします。
- （2） 上記の活動について、（1）で述べた留意点を踏まえながら、活動の具体例を述べなさい。